

(様式第1号)

平成30年10月26日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領域名：福祉用具と住環境に関する領域
科目名：福祉用具と住環境
単位数：2
認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人岡山県介護福祉士会
団体事務所の所在地：〒700-0807
岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ7階
電話：086-222-3125
FAX：086-222-6780
E-mail：okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：会長 安達 悦子 ㊞
申請責任者：事務局長 神寶 誠子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年10月26日
申請団体名	一般社団法人岡山県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 安達 悦子
申請責任者職名	事務局長
申請責任者氏名	神寶 誠子
団体住所	〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ7階
同 Tel・Fax メールアドレス	Tel : (086)-(222)-(3125) Fax : (086)-(222)-(6780) E-mail <u>okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp</u>
申請対象の領域	領域名：福祉用具と住環境に関する領域
科目名 (単位数)	科目名：福祉用具と住環境 (2単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 () 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	福祉用具と住環境に関する領域
科目名	福祉用具と住環境
(1)提供する研修について	
研修名	認定介護福祉士養成研修
教育目的	・福祉用具に関する知識を習得して支援に活用することができるようにする ・住環境の知識を習得して家族や利用者に改修に関する提案ができるようにする
到達目標	・福祉用具に関する基礎的な知識を習得し、支援に活用できる ・介護場面に応じて、福祉用具等を選択し、それらを活用した支援技術を習得し、実践できる ・住環境に関する基本的な知識を習得し、支援に活用できる ・在宅や施設を問わず、利用者の生活の場となる住環境を評価し、介護場面に応じて改善を提案することができる

	含むべき内容	研修プログラム
研修内容（研修プログラム）	<p>○介護場面（移動・移乗、睡眠、起居、排せつ、入浴、食事、コミュニケーション等）に応じた適切な福祉用具の選定や住環境の整備</p> <p>○福祉用具・生活支援機器・義肢装具・自助具などの種類と機能</p> <p>○利用者の障害の程度による機器の選定方法と、福祉用具を活用する際のリスクの理解</p> <p>○利用者の住環境の評価</p> <p>○利用者が自立生活を送るための障害の状況に応じた住環境の課題と対策</p>	<p>福祉用具</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉用具総論（定義、分類、種類、使用方法）（2時間） ICFと福祉用具の関係（位置づけ、アセスメント法）自立支援と介護支援に必要な技術（2時間） 福祉用具とリスクマネジメント（事故・ヒヤリハットの考え方と対応）（2時間） 高齢者の身体機能と福祉用具（2時間） 福祉用具と座位能力（移動関連用具、シーティングの対応）演習（2時間） コミュニケーション障害と福祉用具（2時間） 腰痛予防と移乗関連用具、ボディメカニクス（3時間） 福祉用具活用のケーススタディ（2時間） <p>住環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 居住環境整備に関する概論（居住環境整備の重要性と課題）（2時間） 居住環境整備に関する基本技術（住宅改修、改造（手すり、段差、床材、建具、スペースなど）、温熱環境、色彩、インテリアなどについて解説する）（4時間） 利用者居住環境の評価（居住環境の安全性確保に求められるポイントを確認する。実際に住宅内の安全チェックリストを用い、いくつかの事例を評価し、その住環境を改善または維持する計画を立てる）（7時間）
研修方法	<p>■ 集合研修</p> <p>□ 課題学習</p> <p>集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 評価は担当講師が行う。</p>	
研修時間	30 時間（集合研修 30 時間）	
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変と言ったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。（レポート課題無し） 1 日のプログラムのうち、始めの 30 分を超える遅刻、終わりの 30 分を超える早退であって、120 分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（50 問程度）において、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）であること。D 評価（59 点以下）の場合は、再試験を行い、A～C 評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 	
(2) 受講者について		
受講対象（受講要件）	単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。	
修了評価	筆記試験（50 問程度）により行い、100 点～80 点を A 評価、79 点～70 点を B 評価、69 点～60 点を C 評価、59 点以下を D 評価とする。A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）で修了とする。	
(3) 研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	30 名（講師 1 名）演習時も同じ講師で行う ファシリテーター配置 受講生 15 名に対し 1 名	

開催場所(都道府県)	岡山県
------------	-----

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2020年2月～3月
	②
	③
開催場所(会場)	① 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当講師(講義・演習・評価): 高戸 仁郎 氏
	【職歴】
	平成11年 東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科講師 介護福祉関連セミナー(60時間)を担当し、介護福祉士養成教育に従事 障害者スポーツ指導者養成において、福祉用具に関する講義担当
	平成25年 岡山県立大学に着任後、介護福祉士養成課程の生活支援技術(住環境科学演習, 30時間)、介護の基本(生活とエルゴノミクス, 30時間)、障害の理解(身体機能と障害, 15時間)＝福祉用具に関する講義担当 平成6年から一貫して高齢者福祉に関する研究に従事、平成11年からは転倒予防、介護予防に関する論文、学会発表多数
	【講師経験・社会活動】
	平成28年度 健康運動指導者研修会, 講師, 岡山市 平成29年度 健康運動指導者研修会, 講師, 岡山市 平成30年度 健康市民おかやま21中央地域推進委員会講演会, 講師, 岡山市 他 外部資金 ベネッセスタイルケア(株), 研究課題名「施設入居者と地域在住高齢者の協働による介護予防活動継続が参加者の心身にもたらす影響」, 研究代表者 高戸仁郎, (平成27~29年度) ウエスコ学術振興財団, 研究課題名「地域在住高齢者の自主的な介護予防, 健康づくり活動を促進する支援プログラムの開発」, 研究代表者 高戸仁郎, (平成28年度)

	<p>【著書等】</p> <p>安村誠司, 芳賀博, 藺牟田洋美, 高戸仁郎, 安田誠史, 村井千賀, 大竹まり子他, 地域ですすめる閉じこもり予防・支援—効果的な介護予防の展開にむけて—, 2006年11月, (中央法規出版株式会社)</p>
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会 (岡山県介護福祉士会正副委員長・事務局員) 10名内常勤2名
研修の企画運営に関する諸規程	岡山県介護福祉士会定款に準ずる
研修管理責任者職名	岡山県介護福祉士会研修委員長
研修管理責任者氏名	松島 智枝美
機構問合先部署	岡山県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	筒塩 直美
機構問合先電話番号/FAX	TEL 086-222-3125/ FAX 086-222-6780
機構問合先 e-mail アドレス	okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp
受講問合先部署	岡山県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	筒塩 直美
受講問合先電話番号/FAX	TEL 086-222-3125/ FAX 086-222-6780
受講問合先 e-mail アドレス	okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	岡山県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ■紙媒体及びデータによる台帳管理 ■外付けディスクにバックアップデータを保管する ■データ保存期間は10年間、その後は外付けディスクでデータを保管する。 ■個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全過程を修了した者には、岡山県介護福祉士会会長名による修了証明書を発行する。
管理責任者氏名	事務局長 神寶 誠子
管理担当者氏名	事務局員 筒塩 直美

担当講師の教育活動履歴等

1. 氏名

羽原 史恭（はばら のぶやす）

2. 現在の所属

社会福祉法人 旭川荘 旭川児童院通園センター

3. 略歴（職歴、講師経験・社会活動等）

3-1. 職歴〔介護・福祉に関する実務経験、教育・研究活動歴等〕

平成7年～旭川児童院 療育課 理学療法士

平成26年～旭川児童院通園センター 副所長（理学療法士）

3-2. 講師経験・社会活動等〔介護・福祉に関する講師活動、調査・研究・評価等の活動〕

旭川荘厚生専門学院 介護福祉科 リハビリテーション論 分担担当

島根リハビリテーション学院 小児理学療法学 分担担当

カレッジ旭川荘 外国文化と英語 担当

3学会合同呼吸療法認定士

岡山県理学療法士会 中支部長

岡山市健康増進課 あゆみ教室（発達に遅れのある子どもの理学療法担当）

医療的ケア児等コーディネーター養成研修（生活介護部門講師）

平成30年度岡山県理学療法士学会 学会長

「福祉機器フェスティバル in 岡山」の運営責任者

（主催：岡山県理学療法士会、旭川荘療育・医療センター）

所属学会

日本理学療法士学会

日本小児理学療法学会

日本重症心身障害学会

日本重症心身療育学会

日本赤ちゃん学会

日本小児呼吸器学会

4. 著書等

脳性まひ児の24時間姿勢ケア 分担翻訳

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 _____ 福祉用具と住環境に関する領域

科目名 _____ 福祉用具と住環境

集合研修の総時間数 _____ 30 時間

1 日目 (8 時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
2	移動関連用具 (1)	<p>(講義) 車いすの種類と機能的特徴を理解する。 手動型車いすの種類 (自走用, 介助用, パワーアシスト形, リクライニング式, ティルト&リクライニング式, 六輪) とそれらに備わる様々な機構, 操作法の違いを理解する。 (演習) 車いすの乗車姿勢を変える機構として, リクライニング, ティルト, フットサポート挙上機構について確認する。 また, スリングシートの特性についても確認し, 移乗のしやすさ, クッションの適用などについても, 形状や素材の違いによる効果を実際に使用しながら確認する。段差を乗り越える際の操作法について, 自走式, 介助式のそれぞれの車いすを用いて相互に乗車者, 介助者役を演じ, 快適で安全な手法を確認する。</p>	<p>参考文献 福祉住環境コーディネーター検定試験 2 級公式テキスト (東京商工会議所 車いすのヒューマンデザイン (医学書院)</p>	<p>高戸仁郎 羽原史恭 (PT)</p>

		走行等の種別毎に利用の際の留意点を理解する。吊り具についても、シート状の吊り具の特徴について理解し、介助方法について修得する。	ケアマネジメントノンた めの福祉用具アセスメン ト・マニュアル（中央法 規）	
--	--	---	---	--

2日目

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 (補助講師)
2	ADL 関連用具	<p>(講義) ベッド及び付属品の種類と特徴について理解する。</p> <p>(演習) ベッド及び付属品の操作方法を実技によって確認する。介護用電動ベッドの高さと背上げと脚上げ機構の有効な使用方法と注意点について実技を通して理解する。</p> <p>(講義) 体位変換器、褥瘡予防マット、姿勢保持クッションの種類と使用方法を理解する。排泄関連用具、入浴関連用具、食事関連用具の種類と特徴について理解する。</p>	<p>参考文献</p> <p>福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト(東京商工会議所)</p> <p>ケアマネジメントノンための福祉用具アセスメント・マニュアル（中央法規）</p>	<p>高戸仁郎</p> <p>羽原史恭 (PT)</p>
2	コミュニケーション関連用具	(講義) コミュニケーションボードの種類と特徴について理解する。音声出力型会話補助装置や重度障害者用意思伝達装置の種類や特徴について理解する。	同上	高戸仁郎
4	その他の福祉用具	(講義) 姿勢保持装置、義肢装具、福祉車両、介護ロボットの種類と特徴について理解する。	同上	高戸仁郎

1	住環境を取り巻く状況	(講義) 高齢期の住まいや住環境に関する意識の多様性を理解する。家庭内事故の状況を理解する。	同上	高戸仁郎
---	------------	--	----	------

3日目

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
2	住環境整備の基礎知識	(講義) 日本の生活様式や住宅の特徴を理解し、住宅改造の基礎知識 (手すりの設置, 段差解消, 開口部やスペースの確保) を理解する。利用者の身体特性に配慮した温熱, 光, 音の環境や, 在来工法と家具, 収納への配慮等について理解する。	参考文献 福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト (東京商工会議所) ケアマネジメントノンタメの福祉用具アセスメント・マニュアル (中央法規)	高戸仁郎
2	住環境の評価	(演習) モデルとなる住宅を題材に, 住環境の評価を行う。利用者の身体特性, 障害特性等を考慮した住環境整備ができるようになる。	同上	高戸仁郎 羽原史恭 (PT)
2	生活場面に応じた住環境整備	(講義) 要介護状態の人への生活や介護と関連の深い主要な空間 (トイレ, 浴室, 居室・寝室・寢室, 玄関やアプローチ) 毎に求められる住環境整備を理解する。	同上	高戸仁郎

4日目

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師
----	-----	-----------------------	-------	------

3	<p>疾病や傷害の状況に応じた住環境の課題と対策</p>	<p>(講義) 事例を用いて、疾病や傷害の状況に応じた住環境の課題と利用者の自立生活を支援する具体的な整備例について理解する。</p>	<p>参考文献 福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト(東京商工会議所ケアマネジメントノートの福祉用具アセスメント・マニュアル(中央法規))</p>	<p>(補助講師) 高戸仁郎</p>
4	<p>事例検討</p>	<p>(演習) 事例を用いてグループワークによりアセスメントに基づいて福祉用具と住環境に関する支援計画を立案、発表する。</p>		<p>高戸仁郎 羽原史恭(PT)</p>